

# 秋田県県民栄誉章顕彰式

日 時 平成30年10月2日(火)

午後4時

場 所 秋田県庁「正庁」

## 1 顕彰式

- (1) 開 式
- (2) 「県民歌」斉唱
- (3) 知事式辞
- (4) 秋田県県民栄誉章授与及び記念品贈呈
- (5) 秋田県議会議長祝辞
- (6) 祝電披露
- (7) 閉 式

## 2 記念報告会

# 秋田県県民栄誉章被顕彰者



なが はら わかな  
**永 原 和可那**

(22歳)

住 所 秋田市

出身地 北海道河西郡芽室町

## 功 績

平成30年8月、中国で開催された世界バドミントン選手権大会の女子ダブルスにおいて、初出場ながら日本勢41年ぶりの優勝という快挙を達成した。また、昨年秋田市で開催された第67回全日本実業団バドミントン選手権大会では所属チームの準優勝に貢献したほか、国内外の大会で素晴らしい活躍を続け、県民に明るい希望と大きな感動をもたらした。

## 略 歴

平成26年 3 月 青森山田高等学校 卒業

平成26年 4 月 株式会社北都銀行 入行



世界選手権

## 永原和可那選手・松本麻佑選手 女子ダブルス

|           |                  |       |
|-----------|------------------|-------|
| 平成29年 4 月 | 大阪インターナショナルチャレンジ | 第 3 位 |
| 5 月       | 日本ランキングサーキット大会   | 優 勝   |
| 7 月       | チャイニーズタイペイオープン   | 第 3 位 |
|           | 全日本実業団大会         | 準 優 勝 |
|           | カナダオープン          | 優 勝   |
|           | U S オープン         | 準 優 勝 |
| 9 月       | 韓国オープン           | ベスト 8 |
| 11 月      | 香港オープン           | ベスト 8 |
|           | 全日本総合選手権大会       | 第 3 位 |



全日本総合選手権大会

# 秋田県県民栄誉章被顕彰者



まつもと まゆ  
松本 麻 佑

(23歳)

住 所 秋田市

出身地 北海道札幌市

## 功 績

平成30年8月、中国で開催された世界バドミントン選手権大会の女子ダブルスにおいて、初出場ながら日本勢41年ぶりの優勝という快挙を達成した。また、昨年秋田市で開催された第67回全日本実業団バドミントン選手権大会では所属チームの準優勝に貢献したほか、国内外の大会で素晴らしい活躍を続け、県民に明るい希望と大きな感動をもたらした。

## 略 歴

平成26年3月 とわの森三愛高等学校 卒業

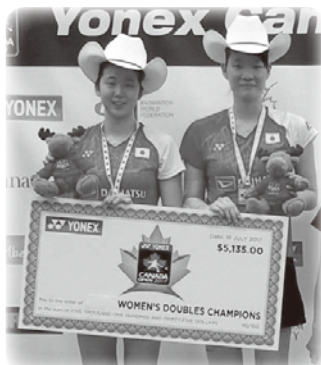
平成26年4月 株式会社北都銀行 入行

## 戦績(平成29・30年)

|         |               |      |
|---------|---------------|------|
| 平成30年3月 | 全英オープン        | 第3位  |
| 7月      | マレーシアオープン     | ベスト8 |
|         | インドネシアオープン    | 準優勝  |
|         | タイオープン        | ベスト8 |
| 8月      | 世界バドミントン選手権大会 | 優勝   |
| 9月      | スペインマスターズ     | 優勝   |



全日本実業団大会



カナダオープン



世界選手権

## 県民栄誉章

本章は、スポーツ、文化等の分野での業績が顕著であるとともに、広く県民に敬愛され、社会に明るい希望を与え、秋田県の名を高めた方に対して、その栄誉をたたえ、県民の「郷土意識」を高めようとするものです。

デザインは、

杉の木（県の木「秋田杉」、  
ふきの葉（県の花「ふきのとう」）を  
図案化したものです。



## 秋 田 県 民 歌

（昭和5年10月30日制定）

|         |     |
|---------|-----|
| 倉 田 政 嗣 | 作 詞 |
| 文学博士    |     |
| 高 野 辰 之 | 修 正 |
| 成 田 為 三 | 作 曲 |

1、  
しゅうれい む ひ  
秀麗無比なる鳥海山よ  
きょうらん ほ  
狂瀾吼え立つ男鹿半島よ  
しんぴ  
神秘の十和田は田沢と共に  
な え ほこり こすい  
世界に名を得し誇の湖水  
さんすいみな し  
山水皆これ詩の国秋田

2、  
めぐ やまやまれいき  
廻らす山山靈氣をこめて  
おの ね ひび せん こ ぶりん  
斧の音響かぬ千古の美林  
ち か こうみゃく むげん ほうこ  
地下なる鉾脈無限の宝庫  
みわた ひろの びょうぼうかす  
見渡す広野は渺茫霞み  
こがね みの ゆた  
黄金と実りて豊けき秋田

3、  
あつたねしんえんきょじん おしえ  
篤胤信淵巨人の訓  
くおん かがや ほくと  
久遠に輝く北斗と高く  
さんき まも ぼしん はえ  
錦旗を護りし戊辰の栄は  
やどめ じょうとう かお  
矢留の城頭花とぞ薫る  
れきし ほまれ  
歴史はかぐわし 誉の秋田

4、  
みんぞくすぐ しつじつ ごうき  
民俗勝れて質実剛毅  
じ ち たい  
正義と自治とのさとしを体し  
じんざい あまね ほぐく  
人材 遍く育みなして  
さん りそう も た われら  
燦たる理想に燃え起つ我等  
しじゅん きょうど ひら  
至純の郷土と拓かん秋田